

ゼミナール

中国文化

漢字編

カラー版

韓 鑒堂「著」

佐藤 嵐士「訳」



文通傳播出版社

ゼミナール 中国文化

漢字編

韓 鑒堂〔著〕

佐藤 嵐士〔訳〕



辽海传播出版社

图书在版编目(CIP)数据

汉字：日文 / 韩鉴堂著；(日)佐藤岚士译著．

——北京：五洲传播出版社，2016.10

(中国文化系列 / 王岳川主编)

ISBN 978-7-5085-3553-1

I．①汉… II．①韩… ②佐… III．①汉字—文化—中国—日文

IV．①H12

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2016)第 240703 号

主 编：王岳川

出 版 人：荆孝敏

统 筹：付 平

中国文化·汉字

著 者：韩鉴堂

翻 译：(日)佐藤岚士

责任编辑：苏 谦

插图绘制：韩鉴堂 韩 宇

图片提供：CFP FOTOE 东方 IC

出版发行：五洲传播出版社

地 址：北京市海淀区北三环中路 31 号生产力大楼 B 座 6 层

邮 编：100088

发行电话：010-82005927 82007837

网 址：<http://www.cicc.org.cn> <http://www.thatsbooks.com>

印 刷：北京浙京印刷有限公司

版 次：2017 年 1 月第 1 版第 1 次印刷

开 本：787×1092mm 1/16

印 张：13

字 数：200 千字

定 价：108.00 元

目 次

まえがき	3
------	---

Part 1 文明の曙5



早期の楔形文字

大河文明の表意文字	5
大河文明の表意文字それぞれの運命	11
図形表意の共同選択	13

Part 2 漢字の起源18



伏羲廟

古代の伝説	18
漢字起源の探索	22

Part 3 漢字形体の変遷28



「車」の字の簡略化

図画に似た古文字	28
図画とはかけはなれた今文字	43
漢字発展の主流	52

Part 4 漢字の構造57



甲骨文中の象形字

古代の「六書」構造説	57
漢字の造字方法	60
現代漢字の形体構造	79
漢字が正方形になった原因	83

Part 5 現代漢字の神秘88



「馬」の繁体字「馬」

現代漢字形体の象形要素88

漢字形体の象形要素の利用95

Part 6 漢字と中国語101



日本の2013年
を象徴する漢字

漢字は中国語に適している101

中国語の基本構造単位としての漢字103

漢字の強大な造語能力104

漢字の持つ超方言性と超時代性106

「漢字文化圏」107

Part 7 漢字が伝える中国故事114



女媧補天図

古代社会の生活114

古代文明の景観と展開126

Part 8 漢字芸術166



青銅器に記され
た図形文字「龍」

漢字の書法芸術166

著名な書法精品の鑑賞171

漢字美術字179

漢字の印章芸術186

Part 9 情報化時代への突入193



現代の畢昇 王選

漢字情報のパソコン処理193

漢字情報時代の喜びと憂い198

付録：中国歴史年代早見表202

目 次

まえがき	3
------	---

Part 1 文明の曙5



早期の楔形文字

大河文明の表意文字	5
大河文明の表意文字それぞれの運命	11
図形表意の共同選択	13

Part 2 漢字の起源18



伏羲廟

古代の伝説	18
漢字起源の探索	22

Part 3 漢字形体の変遷28



「車」の字の簡略化

図画に似た古文字	28
図画とはかけはなれた今文字	43
漢字発展の主流	52

Part 4 漢字の構造57



甲骨文中の象形字

古代の「六書」構造説	57
漢字の造字方法	60
現代漢字の形体構造	79
漢字が正方形になった原因	83

Part 5 現代漢字の神秘88



「馬」の繁体字「馬」

現代漢字形体の象形要素88

漢字形体の象形要素の利用95

Part 6 漢字と中国語101



日本の2013年
を象徴する漢字

漢字は中国語に適している101

中国語の基本構造単位としての漢字103

漢字の強大な造語能力104

漢字の持つ超方言性と超時代性106

「漢字文化圏」107

Part 7 漢字が伝える中国故事114



女媧補天図

古代社会の生活114

古代文明の景観と展開126

Part 8 漢字芸術166



青銅器に記され
た図形文字「龍」

漢字の書法芸術166

著名な書法精品の鑑賞171

漢字美術字179

漢字の印章芸術186

Part 9 情報化時代への突入193



現代の畢昇 王選

漢字情報のパソコン処理193

漢字情報時代の喜びと憂い198

付録：中国歴史年代早見表202

まえがき

『中国文化・漢字』は五州伝播出版社の依頼を受けて作成されたものです。

本書は分かりやすい文字とたくさんの写真を使用し、幅広く深い漢字文化の基礎知識を簡単に紹介することで、海外の方にもこの本を読みながらこの有益な「漢字王国」の旅を気楽に楽しんでいただきたいと思います。また、もしこの本が読者の方々の漢字文化に対する初歩的な理解の手助けとなり、興味を生み、漢字の読み書き能力の向上につながることになれば、とても喜ばしいことです。この本が中国と他国の文化交流のきっかけになることを強く願っています。

漢字は四角形で構造を表す文字で、世界で唯一生き残っている古代文字でもあります。そのため「活化石（生きる化石）」とも呼ばれ、人類文明の奇跡と言われています。

漢字の起源は図画から来ており、図形文字に始まり、甲骨文字、金文、篆書体、隷書体といった形態の変遷を経て、徐々に図画から筆書き、象形から象徴に、複雑なものから簡単なものに変化していきました。簡易化は常に漢字発展の主流でした。こういった内容は本書の中でたくさん示してあります。

さらに表意体系の文字として、漢字が全て持つ内在表意特質と象形視覚特徴はとても際立ったもので、この内容はこの本全てで一貫して重点的に説明しています。ご存知のように、我々の使う現代漢字はすでに象形文字ではありません。しかしその表意特質は決して変わっておらず、全て同じように古代文字としての痕跡が残っています。現代漢字の形体上中でははっきりと見て取れる象形要素と、そうでない象形要素を十分に理解する事で漢字の認識と使用に役立つはずです。

「生きる化石」として漢字はその四角形構造の中に中華民族数千年の文明をたっぷりと凝縮しています。このような濃厚な中国文化をこの本では芸術としての漢字の素晴らしい表現をもって紹介と賞賛、鑑賞、分析をしています。

漢字はまだ発展の途中であります、世界で最も多くの人々が利用するこの漢字は、いつまでも輝きを失う事はないでしょう。

簡単にまとめると

漢字

中国語の筆記象徴

漢字

独特な表意の文

遙か昔からあるもので

絵画に由来し

その魅力が人を魅了する

土に根を下ろし

葉は茂り根は深くまで達し

未来に向かって

力強く進んで行く

たくましく

川の流れのように

高らかに歌いながら前へ前へと流れていく

最後に、私を鼓舞し、応援してくださった全ての方々に感謝の意を表したいと思います。

韓 鑑堂 2013年12月20日 天津にて

文明の曙

文字は言語を書き表す符号であり、また人類の重要な標識です。最も早く現れた文字はまず東方の大河文明故国にて現れたとされています。今から 5,000 年も前にこのような大河文明の先住民族の間に交流と記録の願望が芽生え、各々が思いのままに自分の思いや考えを絵の形に似せて文字に記録していたのです。また絵を用いて物事を記したというのもまた古代民族の初めの共同選択でした。

大河文明の表意文字

言語の誕生は人類進化史上の一つの飛躍でした。文字の誕生もまた同じように一つの飛躍でありました。

文明につながる時間

大きく分けて、世界に存在する文字は二種類あります。一つは表意文字で一つは表音文字です。世界で最も早く出現した文字は、図画から発展した東方民族の古老文字で、表意文字の部類に属します。約 5,500 年前、ティグリス川とユーフラテス川流域（メソポタミア）のシュメール人が粘土板に楔形文字を刻印しました。



早期の楔形文字は象形の符号でした。

5,000 年前、ナイル川流域のエジプト人がパピルス紙に象形文字を記しました。4,500 年前、インド側流域のインド人が印章文字を作り出しました。

このような古代文字は初め、全てが象形文字でした。約 5,000 年前から 3,000 年前までに黄河や長江の流域で生活していた中国人が陶器や亀甲獣骨片、青銅器の上に記していた漢字さえも象形文字でした。異なる民族の古代文字は、それぞれ特有の風格を持った象形表意形体をもってしてそれぞれの大河文明の栄華を示しています。この時代の人々はすでに最も早く生まれた原生古代文字の存在を知っていて、まだ完全にすべての言語を記録できたわけではなくとも言語の中の重要な情報はこの符号の中にすでに凝縮されていました。

古シュメール楔形文字

楔形文字はおそらく世界で最も古い文字です。5,500 年前メソポタミアで生活していたシュメール人がこのような風変わりな文字を作りました。これは葦の筆を使って粘土板の上に刻印されたもので、楔もしくは釘のように筆跡は太かったり細かったりすることから人々は「楔形文字」や「丁頭文字」と呼ぶようになりました。初期の楔形文字はまだ図画に似ていて、図画式の象形文字に属していました。楔形文字は古バビロンの時代にとっても栄え、合計 3,000 年存在した後、次第に消えていきました。楔形文字が消失して 2,000 年がたった今日、楔形文字の刻まれた粘土板は 75 万枚も見つかっています。他にも楔形文字が刻まれた岩壁、石碑、石柱を見ることができます。その中で最も有名なのが岩壁『ベヒストウン碑文』と『ハンムラビ法典』石柱です。しかしながら、これらの以前誰もその意味を知ることのなかった楔形文字は何世紀にもわたってヨー

ロッパの学者を苦しめることとなりました。

1851年、イギリスの学者であるローリンソン(1810～1859)は「ベヒストウン碑文」に刻まれた文字を解読し、楔形文字の秘密を暴きました。「ベヒストウン碑文」はベヒストウン村の91メートルの断崖絶壁に刻まれていて、3種類の文字によって構成されています。一番上の段にバビロニア語、真ん中の段にエラム語、一番下の段にペルシャ語が刻まれています。ローリンソンの解読は彼の得意な古代ペルシャ語から始まりました。楔形文字の解読は一度に2つの河川流域の古代文明の歴史風貌を知らしめてくれました。もし解読されていなければあの輝かしい古代文明はおそらく永遠に歴史のホコリの中に埋もれていたでしょう。

古代エジプトの象形文字

大体5,000年前、ナイル川流域の古エジプト人が象形文字を作り出しました。この図画式文字は現在でもエジプトのピラミッドやお寺でも見ることができます。古エジプト人たちは、常にこのような象形文字を葦の筆を使ってパピルス紙に記し、本のようなものにしました。これはおそらく世界で最も早く出来た書籍でしょう。紀元前525



『ハンムラビ法典』石柱。高さ2.25メートル、上部には太陽の神がハンムラビ王に杖を渡そうとしている様子が刻まれ、下部には8,000字もの楔形文字によって法律全文が刻まれています。

年、エジプトがペルシャ人によって征服され、古代エジプトに 3,000 年に渡って存在し続けた象形文字はここから徐々に消失していきました。エジプトの象形文字が分かる最後の僧侶が亡くなって以降、この文字は誰も読めなくなってしまいました。

長きに渡って古代エジプトの象形文字は神秘のベールに包まれていました。1798 年、フランスのナポレオン大軍がエジプトに遠征し、翌年フランス兵がナイル川河口のロゼッタという町で要塞工事をしていた際に、採石場の石の中から銘文の刻まれた石碑が発見されました。その石碑には古代エジプトの象形文字（神聖文字）、民衆文字、ギリシャ文字の 3 種類の文字が刻まれています。これがかの有名な「ロゼッタストーン」です。1824 年、数十種類の古代文字に精通したフランスの天才学者シャンポリオン (Champollion, 1790 ~ 1832) はギリシャ語の碑文を参考に石碑の象形文字を解読して古代エジプト象形文字の謎を解き、ここから古代エジプト文明の真相を暴いて世界に「エジプト学」を知らしめました。



イギリス学者ローリンソンは、断崖絶壁の岩壁に書かれた楔形文字を写し取り、さらに十数年もの時間をかけて壁に書かれた文字を解読したことから“楔形文字の父”と呼ばれています。

古代インドのハラッパー印章文字

古代インドは人類文明の源を発した地の一つです。哲学、文学、自然科学等の方面で世界文明に対して独創的な貢献を果たしました。インド

の古代文明は 20 世紀初めになって発見されました。これがインダス川流域の「ハラッパー文化」です。ハラッパー文化は古代インドの青銅器時代の文化で、約 4,500 年前に現れ、3,700 年前に突然消失したとされています。存在したのは中国の夏朝（約紀元前 2070 年～紀元前 1600 年）と同じくらいの時期でした。考古学者が発見したハラッパー等のいくつかの都市遺跡の中にはとても規模の大きいものもあり、「青銅時代のマンハッタン」と呼ばれています。その都市遺跡の中でハラッパー時代の文字も発見されました。これらの文字の多くは石や陶器、象牙で作った印章の上に刻まれていることから「印章文字」と呼ばれます。現在までに 2,500 個以上もの印章が発見され、合計で文字符号は 500 個以上あります。これらの符号はほとんどが象形文字でその中の一部が表音符号です。驚くべき点は、すべての小印章の上にとっても精巧で美しい動物の絵が彫られている点です。この技術レベルの高さには信じがたいものがあります。

メソポタミアの楔形文字、エジプト象形文字との違いは、古代インド文字が現在に至っても未だ解読されていない点です。加えてハラッパー文明が数百年存在したのち突然消えてしまったので印章文字と古ハラッパー文化は文字学者や歴史学者にとって、今でも大変神秘であるとされています。よく知られているインドの古サンスクリット文字は後のも



古代エジプトの象形文字



古代インドの「印章文字」。石や陶器、象牙で作った印章の上に刻まれているこれらの符号はほとんどが象形文字でした。



ハラッパー文化都市の遺跡。インダス川流域で見つかったハラッパー文化都市の規模はどれも大きく、精巧な印章文字もこのような都市遺跡の中で見つかりました。

のであって、ほぼ印章文字とは直接的な関係がありません。

古代中国の象形文字

中国は世界東方文明古国の一つで、文字の歴史は少なくとも 5,000 年あるとされています。黄河下流の山東大汶口文化陶器に刻まれている図のような記号を中国で最も早くに出来た文字としています。また、3,000 年以上前に亀の甲羅や牛や鹿の骨の上に刻まれた甲骨文字は比較的体系の整った文字で、以降漢字は全てこの甲骨文字を基礎として発展していきました。他の東方大河民族の古代文字と同じで中国の古代文字も図画のようなものから始まり、形をもじって意味を表していました。



狩りの祭事を記録した甲骨文字

大河文明の表意文字それぞれの運命

とあるどこから来たのかわからない航海民族が突然現れ、少なくとも二つの大河文明表意文字の歩みの方向性を変えたとされています。

字母文字の誕生

紀元前 13 ～ 11 世紀、地中海の東海岸、現在のシリア、レバノンの一帯で活発だった航海と商売をしていた善良民族がいました。彼らはいつも鮮やかな赤紫色の上着を着ていて人々は「フェニキア人」と呼んでいました。「フェニキア」とは、ギリシャ語で“赤紫色”という意味があります。航海と商売においては頻繁な交流が不可欠でした。彼らは手早く記帳を行うためにバビロニア楔形文字とエジプト象形文字の広がりの中で簡単な 22 個のフェニキア字母をつくり、これが便利で実用的な平民文字となりました。



22 個の字母を作ったフェニキア人

この後、ギリシャ人はフェニキア字母の基礎を元にギリシャ字母をつくり、ローマ帝国もまたギリシャ文字の基礎を元にラテン字母を作りました。それと同時にシュメール楔形文字と古エジプトの象形文字は徐々に消滅していきました。字母文字はいかなる言語とも結合し、新たな文字を生み出す可能性を持ちます。そこで、民族も多く言語も様々なヨーロッパ大陸で、たくさんの異なる字母文字が出現しました。欧米に

はいろいろな字母文字を使用する民族が存在していて、これが後に国家の政治機構を作り出す伏線となりました。現在のヨーロッパ各国のアルファベットはほぼギリシャ字母とラテン字母が変化してできたものだとすることができ、またフェニキア字母文字はヨーロッパ国家字母文字の祖先であるとも言えます。

古代エジプト、古代バビロニア、さらに古代インドの表意文字が最終的に消失または字母文字によって取って代わられたこと、これが歴史の運命でありました。

生き残った古代文字

一方、中国象形文字は違った運命をたどりしました。1899年に甲骨文字が発見され、中国の文字文学学者が甲骨文字のある字形が青銅器に刻まれた銘文、すなわち金文ととても似ていて、たった数日の間でたくさんの甲骨文字の訳出に成功しました。これは漢字が一連の流れの中で受け継がれてきたものであり、文化的継続性を持ち、さらに後から出た文

黄河と長江

中国には西から東に向かって流れる大きな川が二本あります。一つが黄河と呼ばれ、もう一つが長江と呼ばれます。東へと激しく流れる川の水は国の東部に肥沃な土地をもたらししました。そして中国で最も早く農業産業がこの地で起こり、漢字もここから誕生しました。黄河と長江は中華民族の母なる川です。



中国文明を育んだ黄河